

ZAXIS1000K

HITACHI

解体工事仕様機

ZAXIS 1000k マルチブーム仕様機

APPLICATION & ATTACHMENT

特定特殊自動車排出ガス基準適合車

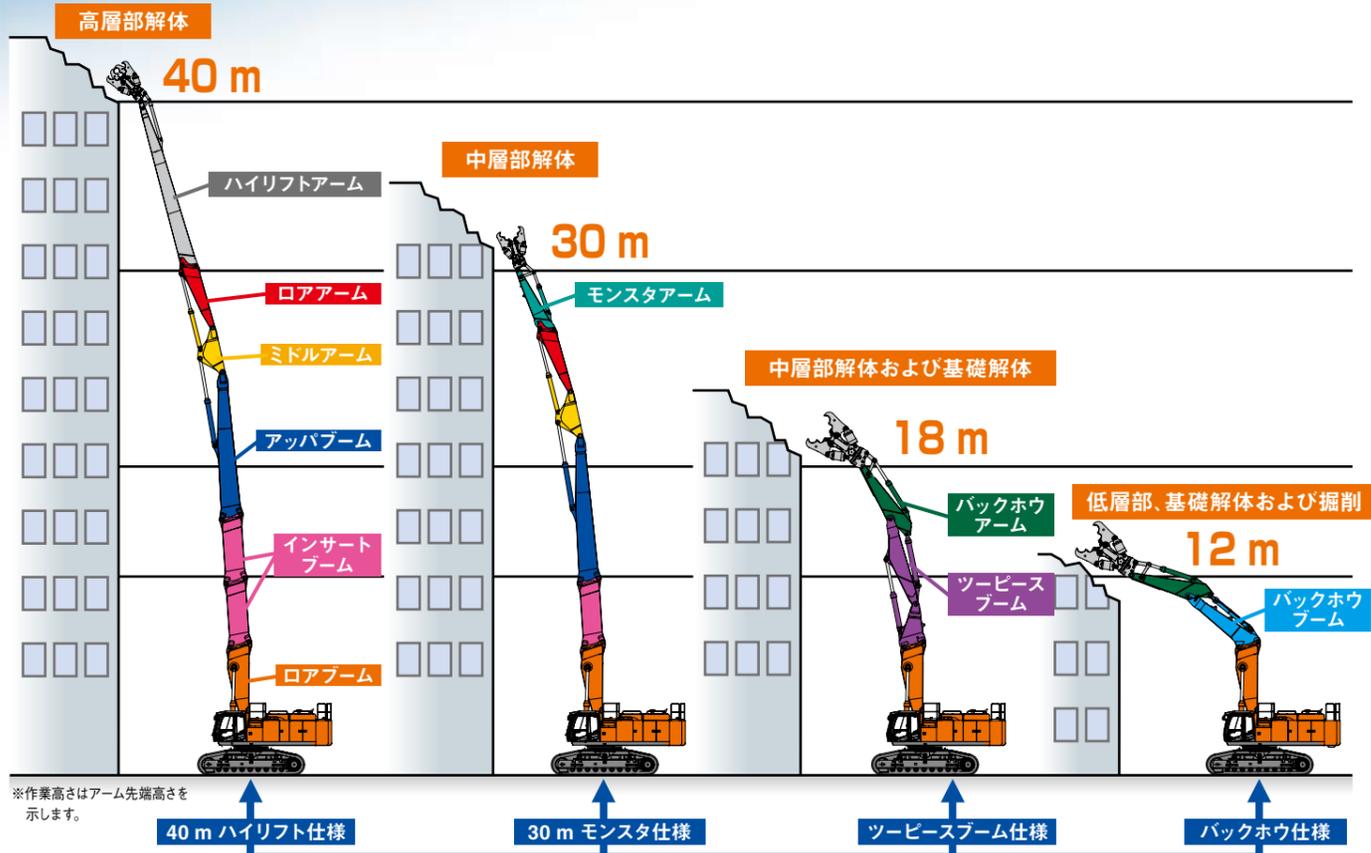


生まれ変わった解体専用機 ZAXIS 1000K

高層・中層・基礎建築物の解体作業に1台で対応可能なマルチブーム仕様機。ベースマシンとロアブームの共通化により、作業高さや破砕力など解体作業ニーズに応える4つの仕様を用意しました。求められる解体作業のスピード化、力強い作業性はもちろん、それをサポートする分解・組立て性能、輸送性能および、さまざまな安全性能を備えました。トータル的な解体作業の生産性とコスト削減を大幅に向上させたマルチ解体専用機です。

マルチブームシステム

共通のフロントの組換えにより、1台の機械で作業高さや破砕力など選択。解体作業のニーズにお応えします。



作業ニーズに対応する **4** つの仕様機を1台で。

	40 m ハイリフト仕様	30 m モンスタ仕様	ツープースブーム仕様	バックホウ仕様
取付け圧砕機最大質量	2,500 kg	5,000 kg	7,500 kg (6,600 kg)	7,500 kg (6,600 kg)
バケット容量	-	-	3.4 m ³	3.4 m ³

〈注〉()内はボルト締結式サイドフレーム装着時の圧砕機質量です。

チルトシリンダサイズアップ

シリンダサイズをアップ強化することにより力強い解体作業が行えます。

ロアアーム

2分割アーム

ロアアームを共通化することにより、高層部解体には「ハイリフトアーム」、中層部解体には「モンスタアーム」を交換することにより解体作業の生産性向上を図ります。

フロント油圧着脱装置

輸送性の向上

フロント輸送姿勢の変更により、ミドルアームとアームの分解が不要。輸送用トレーラー台数を削減しました。(40 mハイリフト仕様+30 mモンスタ仕様の場合)

●従来フロント
(トレーラ4台)

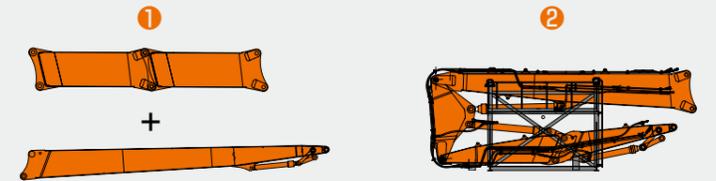
●新型フロント
(トレーラ2台)

- ①アッパブーム+インサートブーム
- ②アダプタブーム+インサートブーム
- ③ミドルアーム+モンスタアーム
- ④ミドルアーム+ハイリフトアーム

- ①インサートブーム×2 / ハイリフトアーム
- ②アッパブーム+ミドルアーム+ロアアーム+モンスタアーム

●輸送例

40 m ハイリフト仕様 + 30 m モンスタ仕様



●輸送姿勢

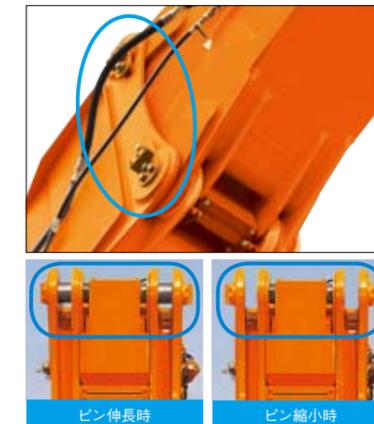
ツープースブーム仕様

バックホウ仕様



フロント油圧着脱装置

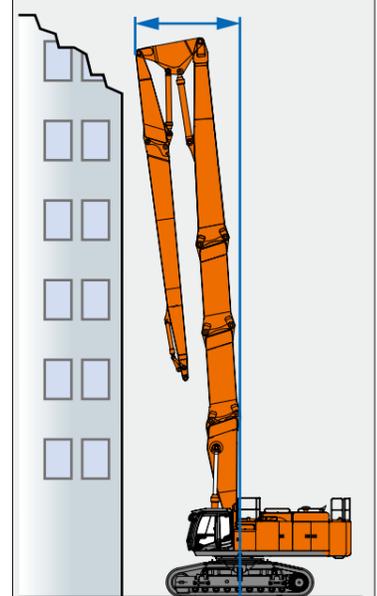
ブーム油圧着脱ピンにより、高所でのピンの抜き差し作業が不要になり安全性が向上。



ピン合わせが容易な構造で、大幅に作業時間を短縮。

クラスNo.1*のフロント最小旋回半径
*2009年6月現在
(40 mハイリフト仕様/30 mモンスタ仕様)

フロント最小旋回半径



狭い解体現場でも解体対象物に接近でき、作業がスムーズに行えます。

40 m ハイリフト仕様:
4,530 mm

30 m モンスタ仕様:
4,260 mm

ツープースブーム仕様: 3,730 mm
バックホウ仕様: 5,440 mm

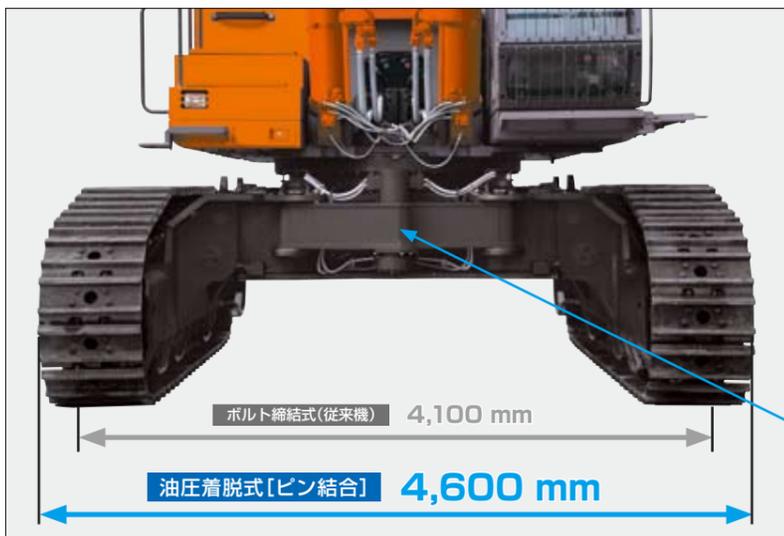
※本カタログの掲載写真は、カタログ撮影用の姿勢です。実作業で機械を離れる場合は、必ずフロントアタッチメントを接地させるなど、安全に心掛けてください。カタログの写真はチルトキャブなどオプション品を含みます。

分解・組立性と安全性を追求



ツーピースブーム仕様

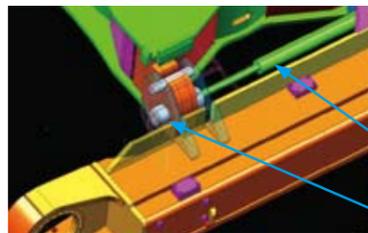
トラックフレーム



※ボルト締結式はオプションです。

油圧着脱式サイドフレーム

油圧ピン結合方式を採用。従来のボルト締付け、取外し作業が不要になり分解・組立時間を短縮できます。さらに、ジャッキアップ装置を標準装備しました。輸送時のサイドフレームの取外し、組み付け作業がより安全に短時間で済みます。



ピン伸縮用シリンダ

サイドフレーム締結ピン

クラスNo.1*のワイドトラック

*2009年6月現在

クローラ全幅を大幅にアップ。横方向の安定性を高めパワフルな解体作業を実現します。

●横方向の安定性：約11%アップ
(対従来機/ボルト締結式)

4,100 mm
(従来機/ボルト締結式)

↓
4,600 mm
(油圧着脱式)

ジャッキアップ装置

装置の格納時はシリンダロッドがトラックフレームから、はみ出ない構造で作業時のガラなどによるシリンダの損傷を低減します。

安全性

解体キャブII



ISO規格のOPGレベルII（オペレータ保護ガード）に適合。落下物からオペレータを保護する安全性の高い構造です。さらに、見やすさにこだわりフラットバーガードを採用し、作業時の視界性を確保します。

OPG:Operator Protective Guards(オペレータ保護ガード)

ツインワイパ



フロントガラスにツインワイパ、天窓に大型のワイパを採用。拭き取り面積が大幅に向上し、ほこりの多い解体現場で良好な視界を確保します。

(ツインワイパは解体キャブIIのみに装備。)

解体キャブIII (オプション)



キャブ上部はシームレスガラスで、上方への視界を広くし、作業場所を見やすくします。(解体キャブIIIは平行リンク式ワイパが装備されています。)

カメラシステム



カウンタウイト部に後方監視カメラを搭載。キャブ内の液晶モニターで後方を確認でき旋回時および後進時の確認に役立ちます。また、破碎部分が確認できるチルトズーム機能付きフロントカメラをオプションで用意しました。

全面強化型旋回体アンダカバーおよびトラックアンダカバー



作業時に鉄筋などの突き上げから、ホース、配管、バルブなどを保護します。

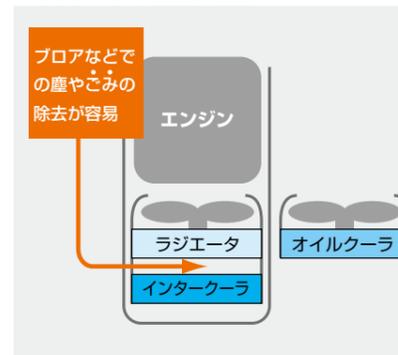
巻込防止アングルおよびDフレームアングル補強 (オプション)



破碎したガラの巻込みを防止する巻込防止アングルおよびDフレームにアングル補強をオプションで用意しました。

メンテナンス性

オイルクーラの別置き配置



ラジエータ、オイルクーラを別置きに変更。オイルクーラを別置きにすることでオイルの冷却効率をアップし、さらに脱着性も改善。これにより、清掃の手間と時間を大幅に簡素化します。

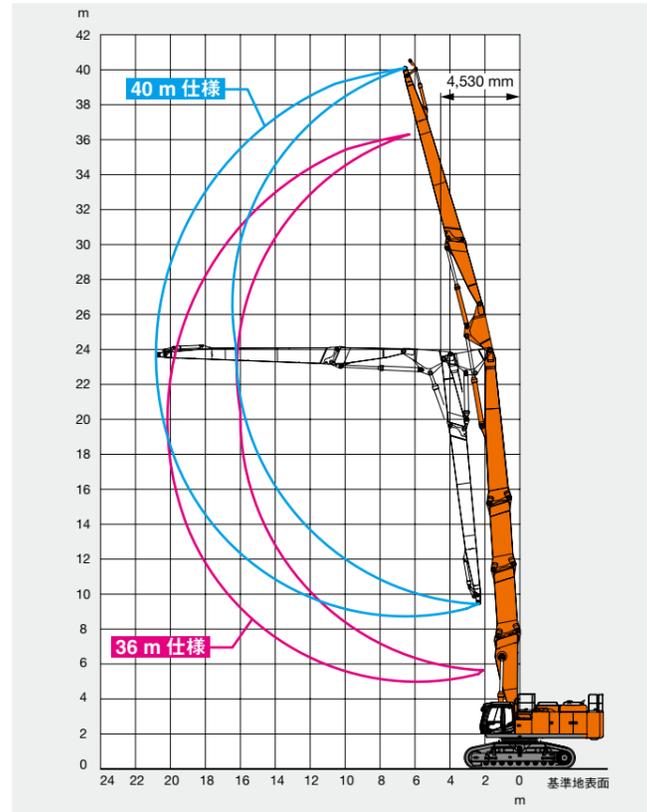
開閉式のエアコンコンデンサ



エアコンコンデンサを開閉式にすることで、エアコンコンデンサとその裏側に配置されたオイルクーラなどの清掃を簡素化しました。

■ 作業範囲

ZX1000K-3 ハイリフト仕様



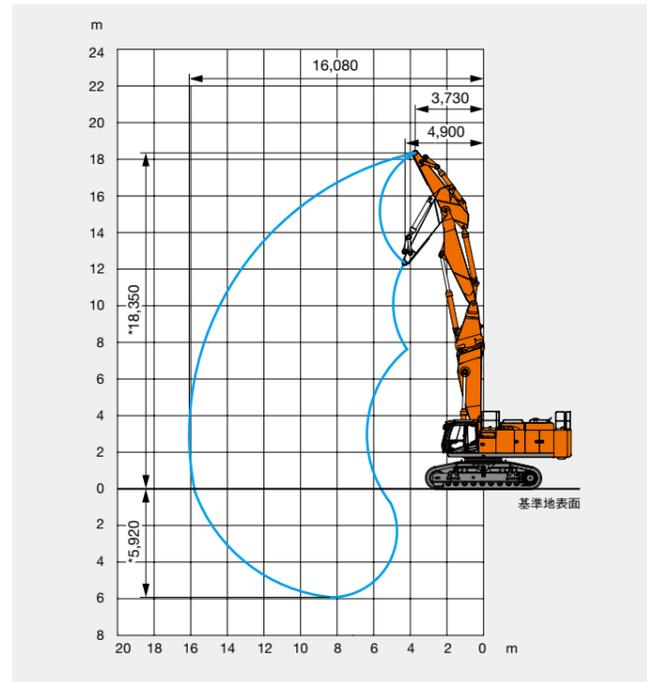
〈注〉図は40 m仕様です。

型式	ZX1000K-3 ハイリフト仕様	
	40 m 仕様	36 m 仕様
*最大作業高さ	mm 40,100	36,300
最大作業半径	mm 20,830	20,170

〈注〉* 印はシュラッグ高さを含まません。

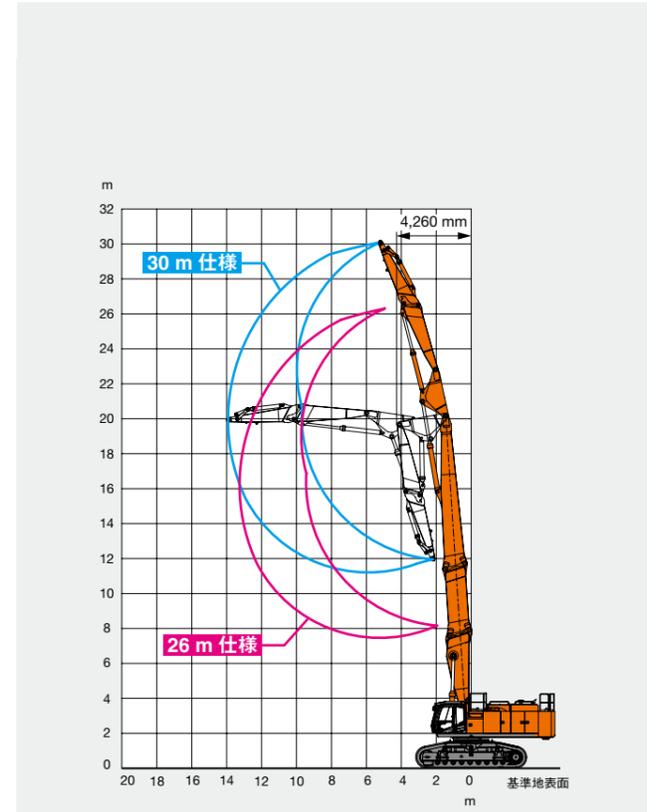
ZX1000K-3 ツーピースブーム仕様

単位：mm



〈注〉* 印はシュラッグ高さを含まません。

ZX1000K-3 モンスタ仕様



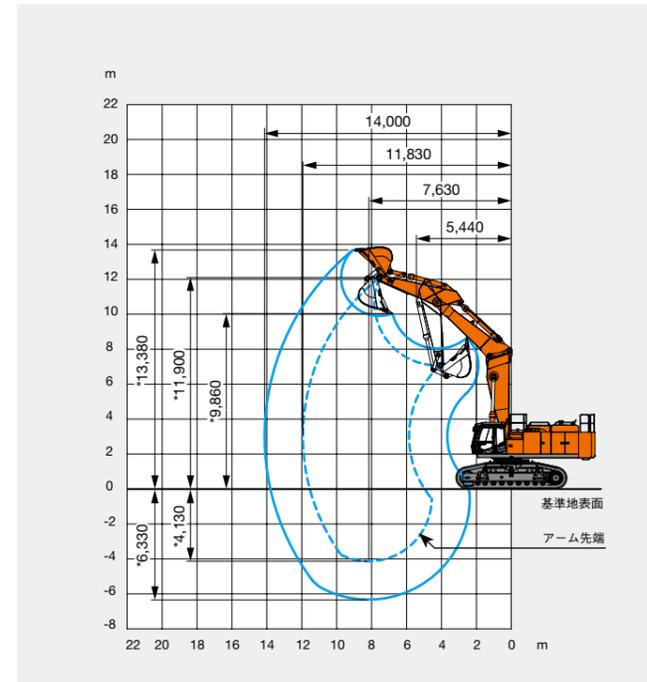
〈注〉図は30 m仕様です。

型式	ZX1000K-3 モンスタ仕様	
	30 m 仕様	26 m 仕様
*最大作業高さ	mm 30,090	26,300
最大作業半径	mm 13,920	13,260

〈注〉* 印はシュラッグ高さを含まません。

ZX1000K-3 バックホウ仕様

単位：mm



〈注〉* 印はシュラッグ高さを含まません。

■ 仕様

型式	ZX1000K-3
エンジン	
名称	いすゞAH-6WG1XYSA-03
形式	ターボ(インタークーラ)付き直接噴射式
定格出力	kW/min ⁻¹ (PS/rpm) 397 / 1,800 (540 / 1,800)
総行程容積	L(cc) 15,681 (15,681)
油圧装置	
油圧ポンプ形式	可変容量形ピストン式 x 2
主リリーフ弁セット圧	MPa(kgf/cm ²) 31.9 (325) / 34.3 (350) 走行
旋回油圧モータ形式	定容量形ピストン式 x 2
走行油圧モータ形式	可変容量形ピストン式 x 2
駐車ブレーキ形式	機械式
油類の容量	
燃料タンク容量(軽油)	L 1,120
作動油タンク容量	L 全量790 / (タンク基準レベル500)
エンジンオイル容量	L 57.0

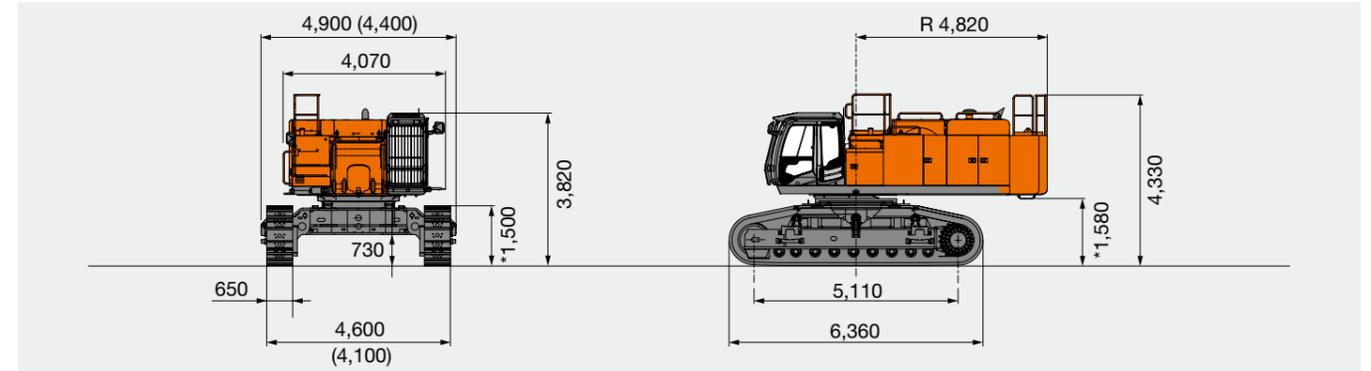
〈注〉単位は、国際単位系(SI)による表示です。()内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。

	40 m ハイリフト仕様	30 m モンスタ仕様	ツーピースブーム仕様	バックホウ仕様
運転質量				
油圧着脱式サイドフレーム	kg 113,800	113,000	113,700	105,700
ボルト締結式サイドフレーム	kg 107,700	106,800	107,500	99,500
接地圧				
油圧着脱式サイドフレーム	kPa(kgf/cm ²) 156 (1.58)	155 (1.57)	156 (1.58)	145 (1.47)
ボルト締結式サイドフレーム	kPa(kgf/cm ²) 147 (1.49)	146 (1.48)	147 (1.49)	136 (1.38)
取付け圧砕機最大質量				
油圧着脱式サイドフレーム	kg 2,500	5,000	7,500	7,500
ボルト締結式サイドフレーム	kg 2,500	5,000	6,600	6,600

〈注〉単位は、国際単位系(SI)による表示です。()内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。

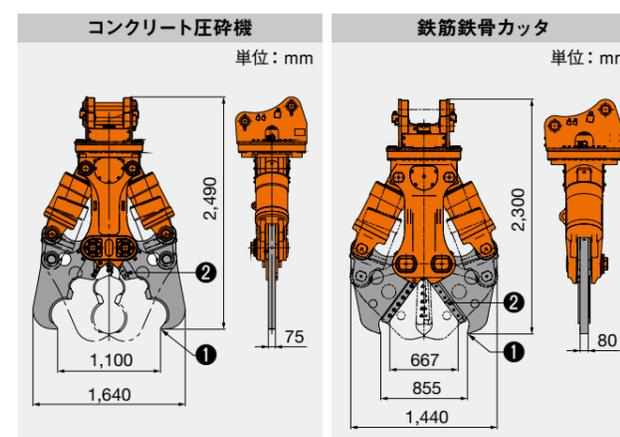
■ 寸法図

単位：mm



〈注〉* 印はシュラッグ高さを含まません。()内はボルト締結サイドフレーム時の数値です。

■ 圧砕機寸法図



型式	コンクリート圧砕機		鉄筋鉄骨カッタ	
	HSC180R (油圧旋回式)	HSC180F (フリー旋回式)	HSC180R-C (油圧旋回式)	HSC180F-C (フリー旋回式)
質量	kg 2,500	2,490	2,500	2,490
最大開口幅	mm 1,100		855	
最大使用圧力	MPa(kgf/cm ²) 31.4 (320)			
破砕力				
①破砕力	kN(tf) 961 (98)		1,205 (123)	
②切断力	kN(tf) 3,600 (367)		2,300 (235)	
装着シヨベル	m ³		0.7	

〈注〉単位は、国際単位系(SI)による表示です。()内は、従来の単位表示を参考値として併記しました。

■ 主要装備品

○：基本装備 ●：オプション ー：オプション設定なし

型 式	ZX1000K ₃	備 考
上部旋回体		
専用メインフレーム	○	
専用ブームシリンダ	○	
ブーム落下防止弁	○	
アンダーカバー (6 mm)	○	
折畳みサイドウォーク	○	左側全域
D フレームアングル補強	●	右側のみ
巻込防止アングル	●	
走行体		
油圧着脱式サイドフレーム	○	
ボルト締結式サイドフレーム	●	
ジャッキアップ装置	○	
トラックアンダーカバー (9 mm)	○	
トラックガード	片側 3 個	
フルトラックガード	●	
ウエイト		
分割型ウエイト	○	
キャブ		
解体キャブII	○	OPG ガード (レベルII) ツインワイバ
解体キャブIII	●	シームレスガラス式 平行リンクワイバ
キャブ前照灯 (2 個)	○	
キャブ後照灯	●	
キャブ前ステップ	○	
チルトキャブ	●	
フロント		
ブーム油圧着脱ピン	○	ブーム連結部
ブームライト	○ (左右)	ロアブーム取付け
チルトシリンダストロークエンド警報	●	ハイリフトのみ
チルトシリンダガード	●	ハイリフトのみ
ガラガード	○	
フロント格納スタンド	●	

型 式	ZX1000K ₃	備 考
配管		
アタッチメント基本配管	○	ラインフィルタ付き
HSB プレーカ圧砕機共用配管	○	
NPK プレーカ圧砕機共用配管	○	
2 速切替え用品	○	
パイロット ACC	○	
フロント速度調整弁	○	
アーム操作切替	○	ハイリフト⇄2P・BH (キャブ内切替え)
アタッチメント旋回配管		
・油圧操作	●	
・電気操作	●	レバーグリップ
散水配管	●	水圧 20 kgf/cm ² 以下
その他装備品		
拡声器	○	
エアクリーナダブルエレメント	○	
ブレクリーナ	●	
ラインフィルタ	○	
ルブリケーター (ベール缶タイプ)	○	
ルブリケーター (カートリッジタイプ)	●	ベール缶タイプと同時選択不可
旋回警報装置	●	
走行警報装置	●	
後方監視カメラ	○	
フロントカメラ	●	チルト・ズーム機能付き
4WAY マルチレバー	●	
燃料給油ポンプ	●	
イモビライザーキー	●	

基本装備品

安全装備

- ・緊急脱出用ハンマ
- ・エンジン停止スイッチ
- ・巻き取り式シートベルト
- ・ロックレバー
(ニュートラルエンジンスタート機構)
- ・キャブ右側ガード
- ・強化型サイドミラー
- ・エンジン前センタウォーク
- ・滑り止めプレート
- ・ノンスリップテープ
- ・ポンプ隔壁

キャブ/室内装備

- ・外気導入式加圧フルオートエアコン
(ホット&クールボックス付き)
- ・回転式ルーバ (デフロスタ)
- ・モニタパネル&スイッチパネル
- ・AM-FM ラジオ (2 スピーカタイプ)
- ・サスペンションシート
- ・フロアマット
- ・ルームライト
- ・ドリンクホルダ (2 カ所)
- ・灰皿/シガーライター

その他

- ・ICF (インフォメーション・コントローラ)
- ・e-Service Owner's site (衛星通信機能付き)
- ・特定特殊自動車排出ガス基準値クリアエンジン
- ・ウォータセパレーター
- ・燃料ダブルエレメント
- ・アルミ製インタークーラ/ラジエータ/オイルクーラ



安全に関する
ご注意

正しい操作と、周囲への思いやりは、
安全作業の第一歩です。

ご使用の前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、
正しくお使いください。

- カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。
- 掲載写真は、オプション品を含んでいます。また、販売仕様と一部異なる場合があります。
- 機械を離れるときは、必ず作業装置を接地させるなど、安全に心掛けてください。
- 機体質量3トン以上の建設機械の運転には「車両系建設機械 (整地・運搬・積込み用および掘削用) 運転技能講習修了証」の取得が必要です。
- 運転資格の詳細については、下記教習所へお問い合わせください。



東京都文京区後楽 2-5-1 〒112-8563
営業統括本部 ☎ (03) 3830-8040
URL : <http://www.hitachi-kenki.co.jp>

資格取得のご相談は (株)日立建機教習センターの各教習所へ

教習センター	TEL.03-3835-9241	埼 玉	TEL.048-931-0121
北 海 道	TEL.0133-64-6388	神 奈 川	TEL.042-730-6716
宮 城	TEL.022-364-6143	山 梨	TEL.055-284-3561
茨 城	TEL.029-828-2370	愛 知	TEL.0564-57-7123
水 戸	TEL.029-352-0285	京 都	TEL.075-957-4944
栃 木	TEL.0282-82-8508	岡 山	TEL.086-464-5411
群 馬	TEL.027-230-5311	山 口	TEL.0833-47-1515
		福 岡	TEL.092-963-3634

お問い合わせは・・・

KA-JA095

09.06 (XD/KA, HT₃)